

## 研修レポート

豊橋市民病院 研修医

総合診療科での外来実習では、普段の豊橋市民病院での救急外来とは違い、生活習慣病の指導や今後のことを考えた患者教育の方法、また専門科としてではなく、総合診療科としてのプライマリーケアについて学ぶことができました。普段の救急外来での時間に追われながらの診察では緊急性の判断し、それを除外するような診療ではなく、鑑別する疾患や問診する内容や診察にかかる時間など、普段の診療とは違うものを経験することができました。また、普段の救急外来での一度でその後経過をあまり知ることができなかったが、総合診療科では外来フォローをすることにより、経過を見ることができ、また経過を見ることが診断をするという経験はあまりなかったもので、いつも以上にその後のことを考えることが多かった。毎日の振り返りの際に問診の内容や患者にどのようなことを伝えておいた方がよかったか、鑑別をどのように考えるなど勉強することができた。特に一度の診察だけでなくその後のことも考え、患者にどのような場合再診させるか、そのような内容に注意をするかなど伝える能力が自分にはまだまだ不足していると感じることができ、豊橋市民病院では毎回振り返りのようなフィードバックがあるわけではなかったため、いつもより細かな内容について振り返ることができてよかった。

作手診療所での実習では、検査がレントゲンとエコーなど検査が限られており、血液検査もすぐに結果が出ないような場所では、問診や診察が非常に重要であることを再確認することができた。また患者が大きな病院へ紹介するといった流れを知ることができた。医療関係者の人数も多くはなく、調剤や受付など一人で複数の仕事を担当しており、一人一人が多くの仕事を行っていることを感じた。

EBM 勉強会では臨床的疑問点から論文などの答えを探す方法、特に PubMed や Up to date などの Web サイトを今までいかに自分が使えていなかったかを知ることができた。また論文をどのように読むのかだけでなく、どのように結果を評価すればいいか、論文をただ読むのではなく PECO と研究デザインを把握し枠組みを理解しながら読むことにより普段の何倍も論文の内容を理解することができ、とても勉強になった。今後論文を読む際や臨床的疑問点を調べる際に参考にしようと思った。

全体として今回の地域実習は普段の診療とは違う側面も多く、また EBM といった言葉の内容は知っていたが、具体的にどのようにすればいいかわかっていなかったことを学ぶことができ非常に有意義な勉強会を行うことができた。

今回 4 週間と短い間でしたが、丁寧で親切な指導のほどありがとうございました。普段の診療とは違うことを多く学ぶことができました。今後のこれらの学んだことを生かして診療や勉強をしていきたいと思えます。